

ミナガワビレッジから学ぶ 建築士によるストック活用の未来

ストックの時代を生き抜くために、私たち建築士はどのような知識を習得し、職域を発展させるべきか。東京建築士会ストック委員会ではこの問題について調査・検討を進め、それに基づきセミナーを企画しています。

住宅をテーマにした第1回に続いて第2回となる今回は、検査済証のない複数の木造建築ストック群を、用途変更や増築等を組み合わせて、検査済証を得直し、新たな不動産価値として再生したミナガワビレッジを題材とし、設計者である神本豊秋氏(株式会社再生建築研究所代表取締役)に講義していただきます。ミナガワビレッジは東京建築士会の2019年住宅建築賞も受賞しており、不動産価値としてだけでなく建築価値も評価されています。建築士が建築ストックを利活用していく際に直面する様々な難題について、乗り越えるための手法や、掛かる時間、報酬など、建築士がストックに関与するために必要な知見を具体的な事例にて説明していただきます。

■講師

神本 豊秋 (株式会社再生建築研究所)

かみもととよあき：1981年大分県生まれ。近畿大学九州工学部建築学科を卒業後、青木茂建築工房に8年間勤務。2012年に神本豊秋建築設計事務所を設立。同年より東京大学生産技術研究所川添研究室 特任研究員として活動し、100年ぶりに再生される東京大学総合図書館を主担当。2015年より株式会社再生建築研究所を設立。講師歴に東京大学、東京都市大学等。受賞歴に東京建築士会住宅建築賞(2019.6)など



■講義内容

「ミナガワビレッジから学ぶストック活用の未来～その課題、手法、報酬まで～」

- ①プロジェクトのロードマップと、実現に至ったターニングポイント
施主、資金、敷地、法規、地域、プログラムなど
- ②プロジェクトの中で設計者が果たし役割と報酬
従来の建築士の役割と、これからの建築士の役割について
- ③ミナガワビレッジの成功を汎用化する上での阻害要因、と乗り越えるための技術

14:00～14:05 (5分)	開会の挨拶	
14:05～16:00 (115分)	講義	「ミナガワビレッジから学ぶストック活用の未来～その課題、手法、報酬まで～」 ①プロジェクトのロードマップと、実現に至ったターニングポイント 施主、資金、敷地、法規、地域、プログラムなど ②プロジェクトの中で設計者が果たし役割と報酬 従来の建築士の役割と、これからの建築士の役割について ③ミナガワビレッジの成功を汎用化する上での阻害要因、と乗り越えるための技術 【講師】：神本 豊秋(株式会社再生建築研究所)
16:00～16:15 (15分)	休憩	
16:15～16:55 (40分)	質疑応答	
16:55～17:00 (5分)	閉会の挨拶・インフォメーション	



開催日

2019年 10月18日 金

会場

東京建築士会 会議室

東京都中央区日本橋富沢町11-1 富沢町111ビル5階

【開催時間】14:00～17:00(受付開始13:30) 【定員】70名(申込先着順)

【受講料】東京建築士会正会員 3,000円(税込) 一般 4,000円(税込) 【CPD】3単位

【申込方法】右記QRコードからWEB申込フォームにてお申込み、または裏面をご参照ください。



【主催】：一般社団法人 東京建築士会 / 【企画】：東京建築士会 ストック委員会

講習会の情報は <https://tokyokenchikushikai.or.jp/> (東京建築士会 HP)

